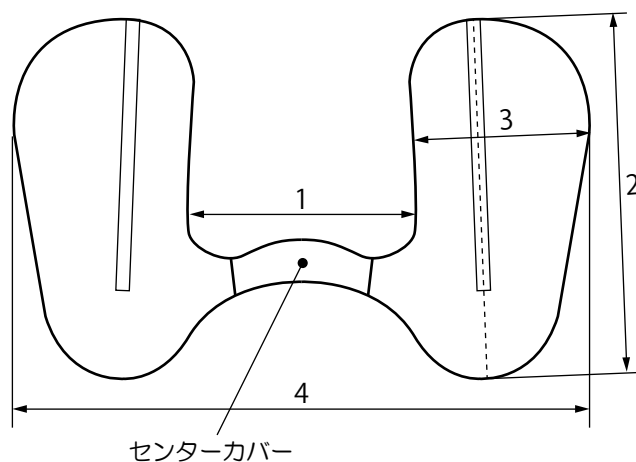


お手入れ・メンテナンス

- 外袋を洗濯する場合は、背面のポケットに入れてある樹脂板を取り出した上で、中性洗剤を使用し、洗濯ネットに入れるなどして生地を傷めにくい方法で洗ってください。洗った後は陰干ししてください。
- 内袋の洗濯は基本的にはしないでください。
(中綿を取り出すと再度詰めて調整することは難しくなります)
- 取り出した中袋を戻す場合は、外袋の両側中央部の溝に付いているオスのベルクロを内袋の両側中央部の溝に付いているベルクロのメスにくっつくように入れ戻してください。
- センターカバーのビニールレザーが汚れた場合は、中性洗剤を布につけるなどして汚れを拭き取り、再度水拭きしてください。

サイズ表



サイズ\記号	<1>	<2>	<3>	<4>	目安
S	22	40	20	60	幼児
M	26	45	22	68	小児(小)
L	30	50	24	78	小児(大)
LL	34	55	26	88	成人

※上の表はcm表記です。 胸幅<1>を目安にお選び下さい

風の郷工房有限公司

992-0334 山形県東置賜郡高畠町大字一本柳2535-1
TEL 0238-52-1446 FAX 0238-52-1411

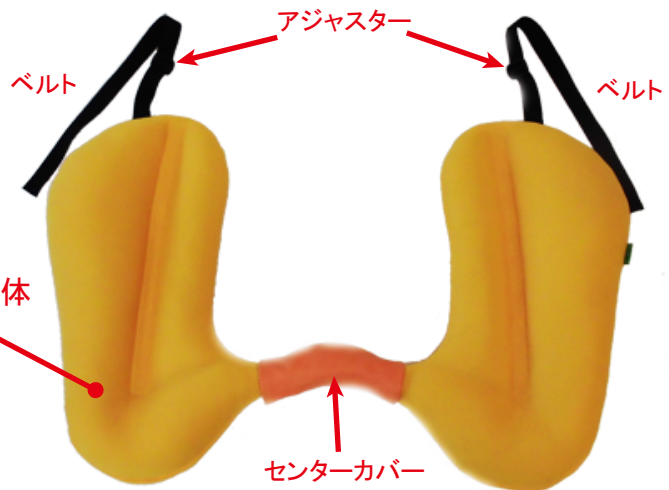
バタフラックス取扱説明書

製品の特徴

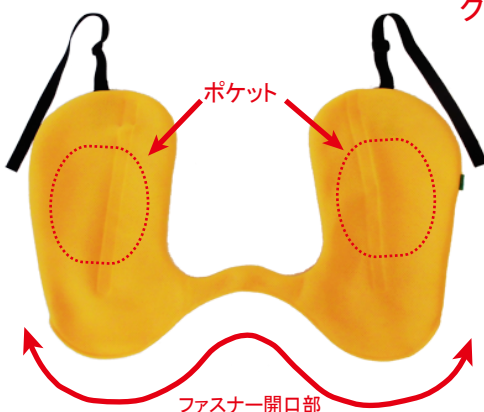
- この製品は、上肢の屈曲・拘縮姿勢が見られる方や、胃瘻を造設されている方のための新しい上肢支えのクッションです。
- 外側に広がった上肢を受け止めて、包み込むようにサポートします。
- 胃ろう造設部分に圧がかからないデザインです。
- クッション中央部の溝に肘がはまる形状で上肢の安定したサポートが可能です。
- 内袋と外袋の二重構造で肩まわりの内側、外側の中綿の量と前腕部の中綿の量を調節することができます。
- 上肢の重さを受け止めることで肩関節への負荷を軽減し、体幹部の緊張をやわらげます。

製品構成と各部名称

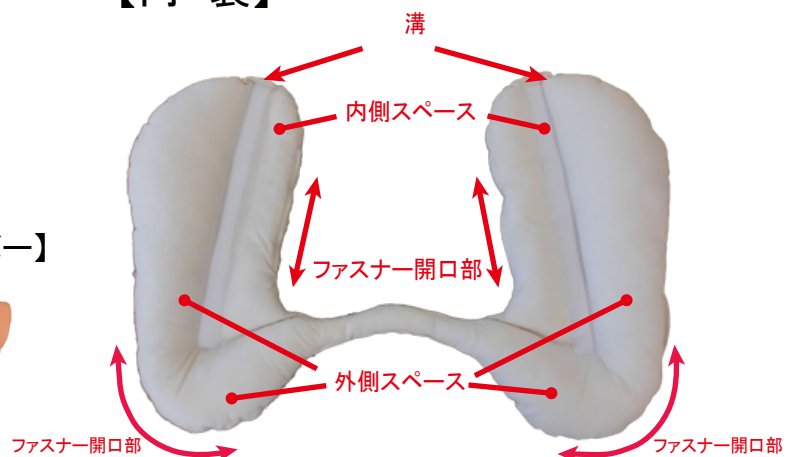
【本体】



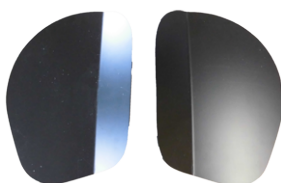
【外袋】



【内袋】



【樹脂板】



【センターカバー】



使用方法

- クッション本体の上端を、ご使用になる方の（手が上がった状態での）手の高さを目安として、付属のバックル付きベルトの長さを調節して取り付けます。
- 体型には個人差がありますので、その際、位置が高すぎて腋下を圧迫したり、みぞおちや胃ろう造設部分にかかっていたりしないかどうかをチェックしてください。
- 脇の下やみぞおち、胃ろう造設部分などを圧迫すると、苦痛やしびれなどを生じることがありますので、十分に気を付けてご使用ください。
- クッションの両側中央部にある溝に肘がはまるように調節していただくと、安定感が増します。
- クッション両側の上方の内側が、少し肩の内側に回り込むように調節していただくと上肢全体をすっぽりと包みこむようにサポートすることができます。
- その際、肩を前に押し出すことにならないように必要に応じて内側の中綿の量を調節して下さい。中綿の量は、内袋のファスナー開口部を開けて調整することができます。

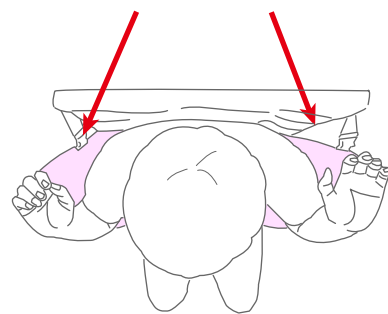
- テーブルと併用する場合
(テーブルの上にクッションを置く場合)

クッションの位置が高くなりすぎないようにテーブルの高さを調節してください。

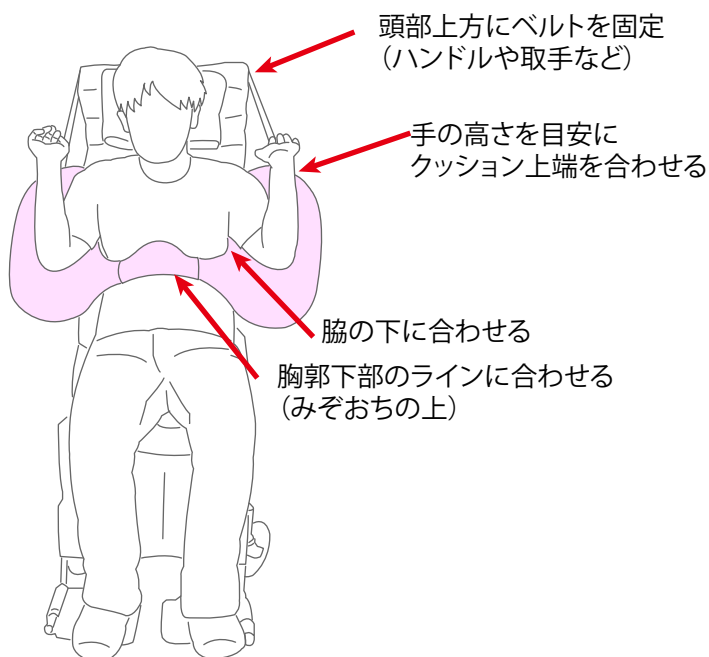
- 中綿の量は、内袋のファスナー開口部を開けて調整することができます。調整する場合は内側のスペースは少なめに、外側のスペースはふくらまし気味に調整してください。そのことによ上肢の収まり方が安定します。

【上面図】

肩の内側に回り込んでサポート



【正面図】



【側面図】



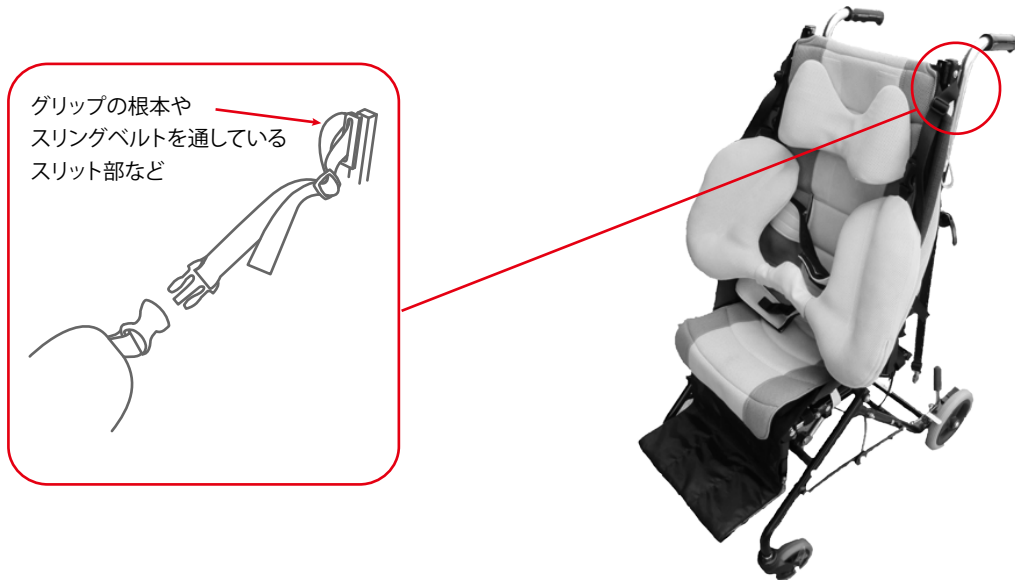
ベルトの取付方法

- バックル付きベルトをフレームに取り付ける場合、フレームの種類によって取り付け方法が異なります。

【ハイバック仕様のフレームの場合】

(バギータイプなど、ヘッドサポートが背もたれの延長上に取り付けられているフレームの場合)

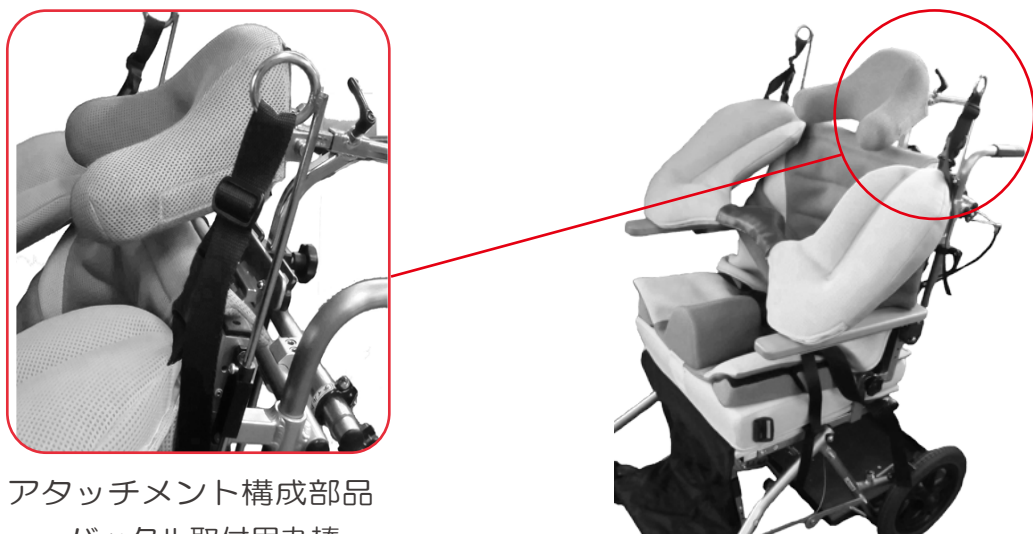
下図のように、バックルのオス側がついたベルトを車椅子等のフレームの上方(ヘッドサポート上方)の位置に取付けます。



【ローバック仕様のフレームの場合】

(ヘッドサポートが、ヘッドサポート取付金具を使用して、背もたれとは別に取り付けられているフレームの場合)

「アームクッション取付用アタッチメント」を使用して、バックルのオス側がついたベルトを車椅子等のフレームの上方(ヘッドサポート上方位置)に取付けます



アタッチメント構成部品

- ・バックル取付用丸棒
- ・高さ調節用セットカラー
- ・丸棒受け樹脂パーツ
- ・スリング用スペーサー